

林經新聞

日本林業経済新聞社
 名古屋市中区千代田3-33-22
 〒460-0012
 TEL 052(331)3231 代
 P 050(3540)5280
 FAX 052(321)3000
 Eメール info@rinkei.jp
 大阪支局 TEL 06(6543)1171
 FAX 06(6543)1179
 広島支局 TEL 082(285)9117
 九州支局 FAX 092(531)8628
 東京事務所 TEL 03(3539)4451
 FAX 03(3539)4477
 ©日本林業経済新聞社 2006

木と共に300有余年
 高品質材扱いの外材製品
材惣木材(株)外材製品部
 愛知県海部郡飛島村木場一・二五
 TEL 〇五六七・五五・二二六八
 FAX 〇五六七・五五・二二六九

新会長に角博氏を選出

誇り高い木の時代「目指す」

日本木材青壮年団体連合会の全国会員福島県いわき大会(大会会長 日當和孝・木青連平成17年度会長)が3日、いわき市のスパリゾートハワイアンズで開かれた。「元氣ハツツ木青連!!」をスローガンに展開してきた平成17年度活動を総括するとともに、今年10月に創立五十周年を迎え「新たな五十年の旅立ち」(角博18年度会長)を目指す第一歩となる。

木工コンクール30回目に

式典には農林水産大臣代理の川村秀三郎林野庁長官ら総勢七百人が参加し、木青連の恒例事業である全国児童生徒木工工作コンクールや木材活用コンクールの表彰式Ⅱ写真Ⅱなどが盛大に行われた。



角博18年度会長

五十一回目の大会は福島

県木材青壮年協会の主催で実施。午後からの大会式典を挟み、午前には全国児童生徒木工工作コンクール審査委員長富安敬二(全国造形教育連盟委員長・立教大学教授)氏による記念講演会「木材と教育」が行われ、式典後には「木づかい新時代」

と「木材と住宅」の二つの分科会が有識者をパネラーに招いて催された。

分科会は、鹿児島大学農学部教授遠藤日雄氏と千葉工業大学常務理事・教授で木材活用コンクール審査委員長小原二郎氏をそれぞれコーディネーターにパネルディスカッション方式で進められ、「木づかい新時代」では行政、設計、木材の専門家四氏が新しい木材の役割や木材業界の進路などについて論議された。

ついて語られたが、木青連でも17年度事業で「愛・地球博」や「木づかい応援団」のマスターリーグ開催など、木づかいの輪を広げる運動を展開。日當和孝会長は、そうした活動報告の中で「再生可能な循環型資源である木材の利用を積極的にPRすることが必要」と訴えた。

日本木材青壮年団体連合会 「元氣ハツツ 木青連!!」 全国会員福島県いわき大会式典



年度も木づかい推進ステアリングコミッティーのメンバー団体として「木づかい運動」の展開に積極的に協力したい」とあいさつ。新年度スローガンに「50年目

の旅立ち。継承、進化そして挑戦! 『誇り高き、木の時代』と『めざそう木』による循環型社会の形成と地球温暖化防止』を掲げた。次回の全国会員大会は、来年6月9日に福岡市で開催。前日には理事会と前夜祭を予定。なお第三十回木工工作コンクールと第九回木材活用コンクールの表彰は、木工工作が文部科学大臣賞を北九州市立到津小学校五年の重岡優里さんが作品「ハチのくらし」で、木材活用が最優秀賞の林野庁長官賞を(株)坂倉建築研究所とORS事務所の四氏が作品「所沢市民体育館」で受賞した。